

令和5年度 えりも高校 第2回授業評価アンケート結果分析

アンケート実施期間：11月29日～12月15日

質問項目（各教科・科目共通）

| | | |
|------------|---|--|
| 先生に関する項目 | ① | 授業の目標・課題設定がわかりやすい。 |
| | ② | 板書やプリント・PCの文字、先生の説明・指示や声量・話す速度などがわかりやすく、整理されている。 |
| | ③ | 授業の内容や難易度は自分に合っている。 |
| | ④ | ペアワークやグループワークなど対話的活動により、自分で考えたり発表したりできるような授業である。 |
| | ⑤ | どのように評価されるか説明している。 |
| | ⑥ | 内容や疑問点について振り返る時間があり、伝えやすい。 |
| 生徒自身に関する項目 | ⑦ | 話を聞く姿勢を取るなど、ふさわしい態度で学習している。 |
| | ⑧ | 授業に積極的・主体的に参加している。 |
| | ⑨ | 分かりやすく発表したりまとめたりすることができている。 |
| | ⑩ | この授業を通して、その科目に関する考え方が深まった。 |
| | ⑪ | この授業を通して、知識や技能の向上を実感している。 |
| 授業についての記述欄 | | 授業に関して特に学びを得たと思うことを記入してください。 |
| | | 授業に要望があれば記入してください。 |

○生徒の評価

4～1の段階で評価する。

| | |
|---|---------------|
| 4 | そう思う。 |
| 3 | どちらかというと思う。 |
| 2 | どちらかというと思わない。 |
| 1 | 思わない。 |

○評価の段階

生徒の評価の平均を以下の評価とする。

| | |
|-------|-----|
| 3.5以上 | A評価 |
| 3.0以上 | B評価 |
| 2.5以上 | C評価 |
| 2.5未満 | D評価 |

教科（国語科）

①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）

- ・前期に引き続き、単元の計画や目標を生徒に提示し、見通しを持たせていることが高評価に繋がった。今後も継続していく。
- ・1学年は④「ペアワークやグループワークなど対話的活動により、自分で考えたり発表したりできるような授業である」の項目も高かった。授業内で生徒の発言を否定しないよう心掛けており、初期の段階でグループワークのやり方を教えたことが結果に出た。

②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）

- ・全学年⑨「分かりやすく発表したりまとめたりすることができている」の項目が低い。評価規準は生徒に明示しているが、生徒からは「どのような発表が良いのか手本を見せてほしい」という声も挙がっているため、今後は手本も示していきたい。
- ・総合的な探究の時間での発表と連携するなど、教科横断的に国語科でもできることを行いたい。クラスメイトだけでなく、他学年や学校外の人への発表を通して、他者に伝わる発表を意識させたい。

③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動

- ・上記②でも書いたように、総合的な探究の時間と連携した国語科の授業を展開したい。

| 教科（地歴公民科） |
|---|
| ①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） |
| <p>課題の設定など、学習への見通しを持たせることができたことが評価の高い項目であったと感じる。</p> <p>板書など学習内容の整理の工夫を教科内で行ったことが、「板書やプリント・PCの文字、先生の説明・指示や声量・話す速度などがわかりやすく、整理されている。」の項目で高い評価であったと思われる。</p> <p>課題であったグループワークの機会の設定についての項目で経年比較で向上した。対話的な学習の機会を単元を見通して計画していきたい。</p> |
| ②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） |
| <p>低学年ほど、授業の難易度が自身にあっていないという結果が出ている。高校の学習内容と自身の生活を結びつけるなどの工夫が引き続き求められる。特に公共においては抽象的な概念をどのように生徒の理解に落とししていくのかを研修したい。</p> |
| ③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 |
| <p>生徒自身の自己評価が低い傾向性がある。授業で学習課題を消化できるような手立てが必要だと感じる。</p> |

| 教科（数学科） |
|---|
| ①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） |
| <p>どの学年についても「授業の目標がわかりやすい」「どのように評価されているか説明している」の項目が特に高かった。特に評価に関しては家庭学習の推進やモチベーションの向上につながっているため、今後も継続していきたい。</p> |
| ②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） |
| <p>「分かりやすく発表したりまとめたりすることができている」の項目の評価が低かった。しかし数学科として、互いに学び合う機会を積極的に設けることを優先して指導を行っているため、「授業に積極的・主体的に参加している」の項目が低くはならなかったと考えている。知識の定着のためのアウトプットの機会の1つとして、発表する場面を設けるよう努めたい。</p> <p>また数学科では習熟度別展開を生徒の希望制としているが「授業の内容や難易度は自分に合っている」の項目は低い傾向にある。</p> |
| ③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 |
| <p>習熟度クラスのレベルに合った授業をしていく必要があるが、そもそも応用クラスと標準クラスのレベルを理解していない生徒も多いと感じる。科目選択もそうだが、その生徒にあった最適な選択ができるように改めて希望を取る際にしっかり説明を行っていく必要があると感じた。</p> |

| 教科（理科） | |
|---------------------------------------|---|
| ①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） | 2学年が全体として、評価が上がり、難易度に負けず、進路を見据えて努力しようというモチベーションができてきたと思われる。今後も進路に向けて生徒の意欲を高める授業を継続する。 |
| ②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） | 1学年は依然として、難易度を高く感じている生徒が多い。必要に応じて個別に指導するよう気を配りながら、実験・観察を取り入れ、授業改善を行っていく。 |
| ③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 | 実験を通して探究し、丸暗記ではなく、知識を活用して判断する力を身に付けさせる。 |

| 教科（保健体育科） | |
|---------------------------------------|--|
| ①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） | 3学年から全体的に高い評価を得ている。ホワイトボード等を活用しながら目標や授業内容、まとめ等を掲示していること、主体的活動を多くしていることが高い評価に繋がっていると考えられる。 |
| ②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） | 1・2学年の⑨発表において、少し低い評価となっている。科目保健では対話的活動を取り入れているものの、科目体育では個人が発表する形式は機会が少ないためと考えられる。 3学年では自分たちで活動を計画しながら進めていく学習活動が主となるため、2学年後半から学んだ内容を相手に伝えるための活動を行っている。その活動と成果を感じるのはいずれかと期待したい。 |
| ③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 | |

| 教科（英語科） | |
|---------------------------------------|--|
| ①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） | 前回の授業評価アンケートと比較し微増している項目が多く、前期から取り組んでいる内容を継続して行ってきたことに加え、対話的活動を意識的に増やしていることも、高評価につながっているのだと思う。今後は、学びが深まるように教材研究を重ね、知識や技能の向上、見方考え方の深化につなげられるようにしたい。 |
| ②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） | 全体の評価としては、どの学年も大きく異なることはないが、習熟度展開の各クラスでの評価を見ても、特に1年生クラスでの評価のばらつきが大きい。C/D評価の項目があるクラスもあり、早急に授業の見直しを図らなければならない。 |
| ③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 | 今回の結果に甘んじることなく、引き続き授業改善を進め、知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力を伸ばせる授業を行っていきたい。 |

| 教科（家庭科） |
|---|
| ①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） |
| ・授業の内容や難易度が自分に合っていると感じているようなので、さらに内容の充実を図っていきたい。 |
| ②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） |
| ・分かりやすく発表したり、まとめたりすることができているという項目について、若干ではあるが他の項目と比較して低くなっている。発表する機会の充実を図りたい。 |
| ③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 |
| ・1年生は、被服実習からクラス毎に行っており、落ち着いて参加できている。 ・2年生は、合同での実施となっているが、1月以降食生活については、実習も伴うため、クラス毎の実施とする。 ・3年生の専門科目では、実習を多めに取り入れ、外部とも連携しながら行っていくことで、内容の充実を図ることができた。 |

| 教科（情報・商業科） |
|--|
| ①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） |
| ・3学年が3項目ほど伸びている。前期中間と比べて、授業内で対話活動が増加したこと、生徒へのフィードバックが積み重なり、評価規準を生徒が理解してきたことが要因と考えられる。 ・1学年が4項目下がってしまった。内容が基礎的なものから発展的な内容に変わってきているため、前期の定着がうまくできていないことが考えられるため、今後個別に指導を行っていく必要がある。また、生徒へのフィードバックを活発にし、発表の仕方が積みあがっていくようにしていく。 |
| ②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） |
| ・低い項目はないが、発表の機会をさらに充実させていきたい。 |
| ③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 |
| ・新しいPCになったことで、活用したいという意欲も高まっているようにも感じられる。 ・発表を取り入れた言語活動の充実をさらに行っていききたい。 |